

○東京都教育委員会目標

○本校の教育目標と目指す学校

『誠実』『慈愛』『自立』

Anniversary 70th
since 1948

八丈高校魅力化プロジェクト

～ ONLY ONE すべては生徒のために～

文部科学省指定 地域と協働した高等学校教育改革推進校 (アソシエイト校)
海洋教育パイオニアスクール
文化プログラム・学校連携事業実施校
海外学校間交流推進校
学力向上研究校

観点	中期的目標と方策	今年度の教育活動の目標と方策	重点目標と方策
学習指導	<p>【目標】 グランドデザインに基づいた新教育課程の編成と、魅力ある教育活動、進路希望の高いレベルでの実現を目指した授業の充実化</p> <p>【方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新学習指導要領のもと、学力の3要素に基づいた八高の指導とルーブリック等の評価を研究・開発し、研究紀要や、八高の学習の手引きとしてまとめ、生徒に配布し、保護者も活用できるようにする。 ○教員の資質・能力向上のため、個人の研鑽をはじめ授業研究など、計画的、組織的な校内研修体制を確立する。 ○文科省の地域協働推進校 (アソシエイト) として、高大連携や地域と協働した探求的な学びを推進し、地域課題解決に挑戦する創造的な人材を育成する。 ○島内の小・中学校との教科間及び学校間連携のため、町教委主催の教育研究会の各部会に参加するなどして、情報の共有化及び指導と評価の内容や方法の改善を図る。 ○IT化や、ICT教育機器の活用を推進する。 ○全教育活動を通じて、オリンピック・パラリンピック教育を推進し、国際交流など八高のレガシーを構築する。 ○国際交流事業を推進する。 	<p>【目標】 カリキュラムマネジメントによる魅力化の創造</p> <p>【方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○八高の学力スタンダードに基づいた年間指導計画のもと、意図的、計画的、系統的に、学習指導と到達度評価を行い、充実化を図る。 ○習熟度別授業の充実化を図るとともに、定期考査や模試等による学力の定点観測やクラス編成を行って学習効果の最適化を図る。 ○主体的で対話的な深い学びなど、知的好奇心・探求心を高める生徒主体の授業を展開し、学習習慣を定着する。 ○図書館機能の充実化と、ICT機器等を活用するなどして、情報教育や進路学習を推進する。 ○反転学習を含めた予習・授業・復習の学習サイクルを定着させるとともに、自習室の学習環境の整備、eポートフォリオシステムや朝学習など、生徒の自主的、主体的な学習を支援し、学び方と学習習慣等を定着させる。 ○校内及び小・中学校の授業参観、授業研究を全教員が行い、異校種相互の授業力の向上を図る。 ○姉妹都市ハワイの高校や大学と連携、姉妹校協定し、教育内容の充実化、魅力化を推進する。 	<p>【目標】 「わかる授業」から「自ら学びたくなる授業」へ</p> <p>【方策と数値目標】 授業満足度 (肯定的評価) 90%以上 (前年度 87%)、相互授業参観を全教員年1回以上実施 (新規)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教務部の進行管理のもと、教科主任会議の活性化を図り、各教科のカリキュラムマネジメントを推進する。 ○意図的、計画的、系統的な校内研修、授業研究を実施する。教務部と各教科会により、定期考査、模試、生徒による授業評価結果等を各教科が分析し改善を図るなど、よりよい授業づくりと統一的な評価基準を策定する。 ○学習の習熟の程度の違いに対応するため、各校務分掌と各教科の連携を密にして一人一人の生徒の学習状況を共有するとともに、模試や講習のほか、校内寺子屋等の外部人材を活用するなどして確実な学力の向上を図る。 ○各教科の学びを生徒全員が取組、成果、課題をまとめ、発表や質疑応答する学習成果発表会を実施する。 ○学校設定科目「郷土芸術」「郷土文化実習」「海洋文化」「熱帯園芸」等、地域の特色を生かした授業を推進し、郷土の伝統・文化、芸術の深い理解と伝承に努める。 ○生徒の主体的な学習や、生活等を目指したノーチャイム制を導入する。
園芸科・家政科の充実	<p>【目標】 園芸科、家政科の魅力化と情報発信</p> <p>【方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○J-GAP認証を通じてSDGsの取組を推進し地域貢献する。 ○農業の適切な使用と、自然環境に優しい栽培に努める。 ○消費者教育を更に充実させ、主体的に生活を創造する能力や態度を育成して、市民性をはぐくむ。 	<p>【目標】 園芸科、家政科の魅力の充実化と情報発信</p> <p>【方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○八高祭、体験授業、公開講座等を通じて、野菜や草花の提供・販売を行い、魅力の充実化を図る。 ○農業クラブや学校家庭クラブを推進、活性化し、活動成果や魅力を島内外に積極的に発信する。 	<p>【目標】 園芸科、家政科の魅力の積極的な情報発信</p> <p>【方策と数値目標】 応募者倍率の10%向上、事故ゼロ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実験・実習中の事故発生ゼロを目指す。 ○資格試験等を積極的に獲得し、自己の進路に生かす。 ○ニュースの発行、体験授業、公開講座、上級学校説明等により、島内外の小・中学生や保護者の理解を深める。
生活指導・健康づくり	<p>【目標】 生徒の健全育成と心身の健康、体力の向上の推進</p> <p>【方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の充実した高校生活のため、保健衛生、安全管理等、確実な取組と事故防止を行い八高生の強みを発揮する。 ○生徒の自立に向けて、自己肯定感を更に高め、社会人として必要なマナー、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力など社会性ある資質・能力向上を図る。 ○生徒の心身の健康の増進と、体力の向上を図る。 ○防災教育の充実化を図る。 	<p>【目標】 生徒の健全育成と心身の健康、体力の向上の推進</p> <p>【方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平和学習、人権尊重、自他の生命尊重など、集会時の講話や教職員全員による統一指導により更に育成する。 ○情報モラルの徹底やセーフティ教室を通して、生徒が社会的に自立するための資質・能力を育成する。 ○オリンピック・パラリンピック教育を通して、生徒の健全育成と心身の健康、体力の向上を図る。 	<p>【目標】 生徒の健全育成と心身の健康、体力の向上の推進</p> <p>【方策と数値目標】 生徒の出席率の10%向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常の八高生活の充実化と魅力化を図る。 ○避難訓練や防災訓練を通じて、「自助」「共助」の精神と能力をはぐくみ、在り方生き方を学ぶ。 ○特別支援教育コーディネーターを中心に、養護教諭と連携して、スクールカウンセラーを有効に活用し、教育相談活動の充実化を図る。
進路指導	<p>【目標】 進路実績の向上</p> <p>【方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育全体計画に基づき、生徒が希望する進路の実現と継続、定着のため、最後まであきらめないなどの精神を涵養する。 ○生徒の進路希望を高いレベルで実現するため、そのために必要な生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けた基盤となる能力や態度を育成する。 ○英検の島内実施や、活動報告書作成、校内体制づくりなど、高大接続改革への迅速かつ的確な対応をする。 	<p>【目標】 進路実績の向上</p> <p>【方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進路指導部主導で各学年と連携し、組織的な進路指導体制のもと、生徒の進路希望を高いレベルで実現する。 ○進路選択に向けた面接指導や講演会、保護者会や保護者との面談等を各学期に実施し、情報共有化する。 ○進路指導部が中心となり、各教科と連携して土曜講習や長期休業期間中の講習を組織的に計画、実施し、基礎・基本の徹底や、発展的な学習等により、学力向上を図る。 	<p>【目標】 進路実績の向上</p> <p>【方策と数値目標】 進路決定率100% (前年度 94%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3年間の系統的なキャリア教育を充実させ、進路希望を高いレベルで実現する。また、求人等開拓を工夫する。 ○総合的な学習の時間の探究活動や、地域の課題発見・解決学習と関連させて、3学年の進路学習の充実を図る。 ○進学希望者にeポートフォリオシステムの活用や外部模試の定点観測と分析を行うとともに、組織的な講習等により学力向上を図る。
特別活動等	<p>【目標】 特別活動等の充実化</p> <p>【方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各部活動の年間活動計画を策定し、発達段階に応じた指導体制のもと、安全性を確保し活性化を図る。 ○生徒会が中心となって、学校行事の一層の充実を図り、愛郷心や帰属意識、郷土理解、リーダー性を高める。 ○グローバル化、ボーダーレス化への対応として、国際交流を更に推進し、TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG) を活用した4技能5領域など使える英語力を育成する。 	<p>【目標】 学校行事や生徒会活動によるリーダー養成</p> <p>【方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の社会人や、中学校と連携を図り、競技や発表の実践を通して知識・技能の伸長を図る。 ○学校行事や生徒会活動では、生徒が主役となり、生徒自身が企画・運営して、達成感と成就感を経験させる。 ○読書活動を推進し、国語力や表現力を養わせ、読書意欲の向上と未読率の解消を図るとともに、『読書感想文コンクール』等に積極的に参加する。 	<p>【目標】 リーダーの養成、部活動加入率の向上</p> <p>【方策と数値目標】 遅刻年間15回以上の生徒4.5%以下 (前年度 9.5%)、部活動加入率75% (前年度 67%)、図書貸出冊数一人20冊以上 (前年度 18.5冊)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学校行事や朝礼での生徒会役員による講話や各種委員会からの連絡、リーダー研修の他の高校訪問等で、生徒会役員及び各委員のリーダー性を高める。 ○図書室の利用促進のため、図書委員会を中心とした運営や広報活動を充実する。
家庭・地域との連携協力・交流活動、学校広報活動	<p>【目標】 都や町と連携した戦略的な情報発信</p> <p>【方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校広報活動を経営の第一課題と位置付け推進する。 ○「八丈島に八丈高校あり」のもと、都や町等と連携して、本校の教育内容と進路実績の向上を柱とする更なる魅力化に努め、情報を発信し、八丈島への移住・定住、ホームステイ先の確保、そのほかの方法などを検討、推進して、応募者倍率を向上させるとともに、地域貢献する。 	<p>【目標】 家庭、地域との密な連携と、戦略的な情報発信</p> <p>【方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元新聞社など、マスメディアに本校の魅力ある取組の情報を提供し、地域と連帯した広報活動を推進する。 ○学校運営連絡協議会等において、地域からの学校理解、学校評価をいただき、教育への支援を定着させる。 ○学校施設を積極的に開放し、地域のスポーツ活動・文化活動に参画し、生徒の主体的な参加を促進する。 	<p>【目標】 IT等を活用した戦略的な情報発信</p> <p>【方策と数値目標】 HP更新年50回以上、授業公開の来校者数130名 (前年度 122名)、本校第一希望者の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本校のホームページやTwitter、学校案内、フライヤー等を積極的に活用し、タイムリーに情報発信して、学校広報活動と保護者、地域等への情報提供を推進する。 ○授業公開の保護者及び地域住民の参加者数増を目指し、開催の周知方法や内容の改善を行い魅力を伝える。
学校経営・組織体制	<p>【目標】 学校経営の適正化</p> <p>【方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○誰もが八高に勤務したくなるよう学校を構築していく。 ○ライフ・ワーク・バランス重視の勤務環境を構築する。 ○本校組織全体の更なる活性化を図り、経営企画室の経営企画機能高め、学校経営参画を推進し、教育系と行政系の職員が密に連携した学校運営や施設管理を行う。 	<p>【目標】 学校経営参画の推進と組織の活性化</p> <p>【方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○危機管理体制を常に見直しマニュアル化して点検を行い、学校課題等の校内研修を意図的、計画的に実施する。 ○創立70周年記念式典の確実な準備と実施を行う。 ○企画調整会議や教科主任会議を中心に学校経営を行い、組織的な学校運営、学校経営を行う。 	<p>【目標】 ライフ・ワーク・バランス推進による組織の活性化</p> <p>【方策と数値目標】 超勤時間月80時間以上ゼロ、45時間以上の減少、いじめや生徒事故、体罰等の服務事故ゼロ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イクボス宣言のもと、年休の計画的な消化、学校閉庁日の活用など、ライフ・ワーク・バランスを中心とした学校経営、学校運営を推進する。 ○入選方法等についての検討を行う。

* 本校の学校経営や、生徒に役立つ方策等については、年度途中でも推進する。